

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大阪府		市町村類型	政令指定都市		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)				
						財政健全化等	×	歳入総額	353,078,550	340,345,277	実質収支比率	0.9	0.9				
市町村名	堺市		地方交付税種地	1-7		財源超過	×	歳出総額	350,241,172	337,368,905	経常収支比率	95.3	96.3				
						首都	×	歳入歳出差引	2,837,378	2,976,372	(※1)	(110.2)	(110.8)				
						近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	1,097,186	1,383,907	標準財政規模	189,377,871	186,684,863				
						中部	×	実質収支	1,740,192	1,592,465	財政力指数	0.84	0.84				
人口	22年国調(人)	841,966	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	147,727	51,475	公債費負担比率	15.4	16.2					
	17年国調(人)	830,966			山振	×	積立金	4,400	4,400	健全化判断比率							
	増減率(%)	1.3			低開発	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-					
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	847,719	第1次	22年国調	1,728	1,971	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-					
	うち日本人(人)	835,743		0.5	0.5	指数表選定	○	実質単年度収支	152,127	55,875	実質公債費比率	5.4	5.2				
	26.01.01(人)	849,107	第2次	81,757	94,927	基準財政収入額	107,993,797	108,514,930	資金不足比率(※4)								
	うち日本人(人)	837,383		24.7	25.6	基準財政需要額	128,741,550	128,782,276									
	増減率(%)	-0.2	第3次	247,212	258,927	標準税収入額等	140,555,981	141,873,932									
うち日本人(%)	-0.2	74.8		70.0	経常経費充当一般財源等	185,257,486	180,395,117										
面積(km ²)	149.81				歳入一般財源等	211,467,987	206,854,429										
人口密度(人/km ²)	5.620																
世帯数(世帯)	344,465																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	385,678,396	364,793,245						
	市区町村長	1	9,520		一般職員	4,533	14,641,590	3,230	うち公的資金	84,682,814	91,144,164						
	副市区町村長	3	8,910		うち消防職員	901	2,737,238	3,038	債務負担行為額(支出予定額)	80,663,192	134,059,426						
	教育長	1	7,534		うち技能労務職員	77	247,093	3,209	収益事業収入	2,080,259	2,104,156						
	議会議長	1	9,025		教育公務員	304	1,095,164	3,603	土地開発基金現在高	8,416,773	8,333,373						
	議会副議長	1	8,075		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,809,000	1,804,600						
	議会議員	50	7,410		合計	4,837	15,736,754	3,253	財政調整基金	4,240,659	3,399,511						
					ラスパイレス指数				99.4	減債基金	33,304,150	35,049,370					
										その他特定目的基金							
一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(6)	国民健康保険事業特別会計	(9)	堺市水道事業会計				(11)	大阪府都市競艇組合	(17)	(公財)堺都市政策研究所					
(2)	都市開発資金特別会計	(7)	介護保険事業特別会計	(10)	堺市下水道事業会計				(12)	泉州水防事務組合	(18)	堺市土地開発公社					
(3)	公共用地先行取得事業特別会計	(8)	後期高齢者医療事業特別会計						(13)	大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(19)	(公財)堺市文化振興財団					
(4)	母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計								(14)	大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(20)	さかいウェルネス(株)					
(5)	公債管理特別会計								(15)	大阪広域水道企業団(水道事業会計)	(21)	(公財)堺市救急医療事業団					
									(16)	大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	(22)	(株)さかい新事業創造センター					
											(23)	(公財)堺市産業振興センター					
											(24)	(公財)堺市勤労者福祉サービスセンター					
											(25)	堺市住宅供給公社					
											(26)	(公財)堺市公園協会					

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	132,746,566	37.6	122,505,388	72.9	普通税	118,132,353	89.0	1,447,237	
地方譲与税	2,067,347	0.6	2,067,347	1.2	法定普通税	118,132,353	89.0	1,447,237	
利子割交付金	447,639	0.1	447,639	0.3	市町村民税	54,735,698	41.2	1,447,237	
配当割交付金	1,208,576	0.3	1,208,576	0.7	個人均等割	1,256,764	0.9		
株式等譲渡所得割交付金	636,822	0.2	636,822	0.4	所得割	41,911,834	31.6		
地方消費税交付金	9,393,674	2.7	9,393,674	5.6	法人均等割	2,224,868	1.7		
ゴルフ場利用税交付金	148,454	0.0	148,454	0.1	法人税割	9,342,232	7.0	1,447,237	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	56,215,976	42.3		
自動車取得税交付金	461,599	0.1	461,599	0.3	うち純固定資産税	55,236,029	41.6		
軽油引取税交付金	5,741,191	1.6	5,741,191	3.4	軽自動車税	871,614	0.7		
地方特例交付金	633,451	0.2	633,451	0.4	市町村たばこ税	6,306,165	4.8		
地方交付税	23,628,775	6.7	22,558,208	13.4	鉱産税	-	-		
普通交付税	22,558,208	6.4	22,558,208	13.4	特別土地保有税	2,900	0.0		
特別交付税	1,070,567	0.3	-	-	法定外普通税	-	-		
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	14,614,213	11.0		
(一般財源計)	177,114,094	50.2	165,802,349	98.7	法定目的税	14,614,213	11.0		
交通安全対策特別交付金	294,625	0.1	294,625	0.2	入湯税	-	-		
分担金・負担金	5,653,777	1.6	106,601	0.1	事業所税	4,373,035	3.3		
使用料	3,896,501	1.1	1,092,549	0.7	都市計画税	10,241,178	7.7		
手数料	2,271,778	0.6	4,642	0.0	水利地益税等	-	-		
国庫支出金	81,002,084	22.9	-	-	法定外目的税	-	-		
国有提供交付金(特別区財調交付金)	9,698	0.0	9,698	0.0	旧法による税	-	-		
都道府県支出金	16,408,772	4.6	-	-	合計	132,746,566	100.0	1,447,237	
財産収入	1,681,089	0.5	366,389	0.2					
寄附金	179,867	0.1	-	-					
繰入金	3,711,578	1.1	-	-					
繰越金	2,976,372	0.8	-	-					
諸収入	9,076,915	2.6	390,508	0.2					
地方債	48,801,400	13.8	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	26,263,600	7.4	-	-					
歳入合計	353,078,550	100.0	168,067,361	100.0					

区分	平成26年度	平成25年度
徴収率(%)	98.9	96.0
現年計	98.8	96.0
合計	98.9	96.8
市町村民税	98.8	96.0
純固定資産税	98.9	96.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	36,399,777	実質収支	1,735,170
下水道	8,692,281	再差引収支	1,932
上水道	137,910	加入世帯数(世帯)	134,427
その他	26,521	被保険者数(人)	225,522
駐車場整備	203	被保険者	92
国民健康保険	8,468,864	1人当り	105
その他	19,073,998	保険税(料)収入額	308
		国庫支出金	105
		保険給付費	308

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,298,920	0.4	-	1,298,353	
総務費	28,958,022	8.3	5,249,788	21,808,070	
民生費	163,188,903	46.6	4,045,733	74,030,725	
衛生費	23,934,842	6.8	393,317	18,268,352	
労働費	454,032	0.1	-	325,258	
農林水産業費	925,921	0.3	410,220	761,142	
商工費	4,913,738	1.4	-	1,866,149	
土木費	53,804,435	15.4	27,921,714	27,756,185	
消防費	11,651,095	3.3	2,718,681	8,889,265	
教育費	28,042,533	8.0	7,510,859	20,911,048	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	33,042,210	9.4	-	32,729,241	
諸支出費	26,521	0.0	-	26,521	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	350,241,172	100.0	48,250,312	208,670,309	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	195,577,314	55.8	112,305,302	112,117,501	57.7
人件費	48,667,372	13.9	44,652,763	44,529,945	22.9
うち職員給	33,932,621	9.7	30,645,401	-	-
扶助費	114,002,617	32.5	35,058,183	34,996,452	18.0
公債費	32,907,325	9.4	32,594,356	32,591,104	16.8
元利償還金	32,907,325	9.4	32,594,356	32,591,104	16.8
うち元金	27,916,249	8.0	27,603,456	27,600,204	14.2
うち利子	4,991,076	1.4	4,990,900	4,990,900	2.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	106,413,546	30.4	85,114,058	73,139,985	37.6
物件費	41,875,018	12.0	34,136,173	30,530,772	15.7
維持補修費	1,858,001	0.5	1,514,344	1,514,344	0.8
補助費等	26,745,628	7.6	24,369,342	18,999,088	9.8
うち一部事務組合負担金	33,863	0.0	33,863	33,863	0.0
繰出金	27,569,586	7.9	22,520,854	22,095,781	11.4
積立金	2,811,585	0.8	2,336,345	-	-
投資・出資金・貸付金	5,553,728	1.6	237,000	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	48,250,312	13.8	11,250,949	-	-
うち人件費	675,468	0.2	655,275	-	-
普通建設事業費	48,250,312	13.8	11,250,949	-	-
うち補助	20,627,942	5.9	369,964	-	-
うち単独	27,190,025	7.8	10,828,240	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	350,241,172	100.0	208,670,309	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成26年度 大阪府堺市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

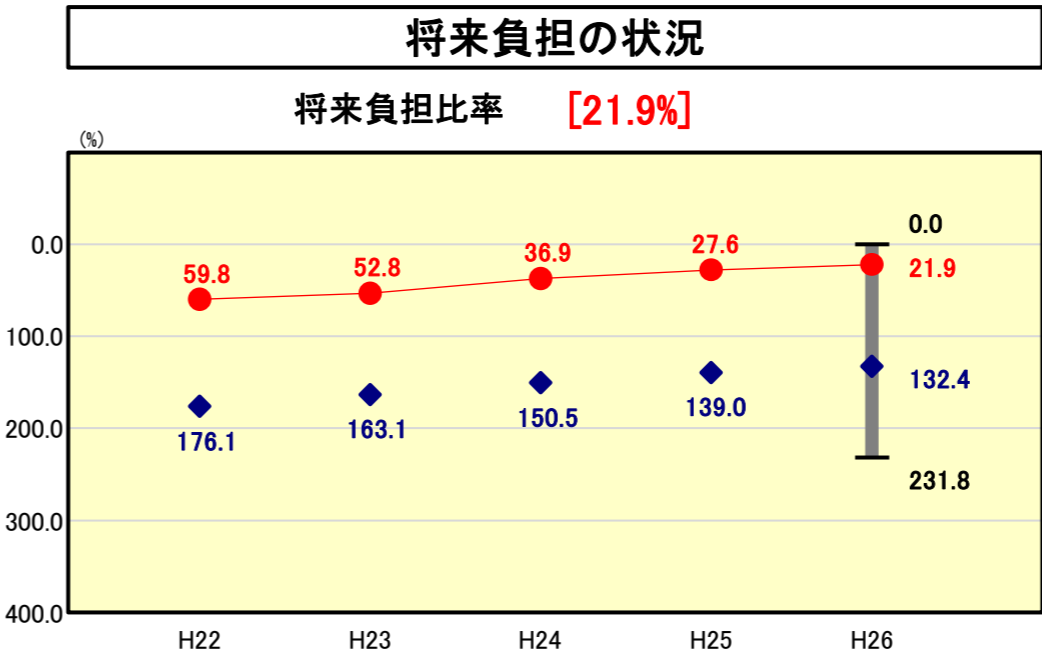
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	351,458	348,695	2,763	1,665	320	414,394	
2 都市開発資金特別会計	117	117			88	189	
3 公共用地先行取得事業特別会計	2,355	2,355			407	5,107	
4 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	384	309	75	75	18	3,029	
5 公債管理特別会計	39,018	39,018			33,437	0	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	847,719	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	835,743	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	149.81	km ²	実質公債費比率	5.4	%
歳入総額	353,078,550	千円	将来負担比率	21.9	%
歳出総額	350,241,172	千円	市町村類型	H22 政令市 H23 政令市 H24 政令市	
実質収支	1,740,192	千円	(年度毎)	H25 政令市 H26 政令市	
標準財政規模	189,377,871	千円			
地方債現在高	385,678,396	千円			



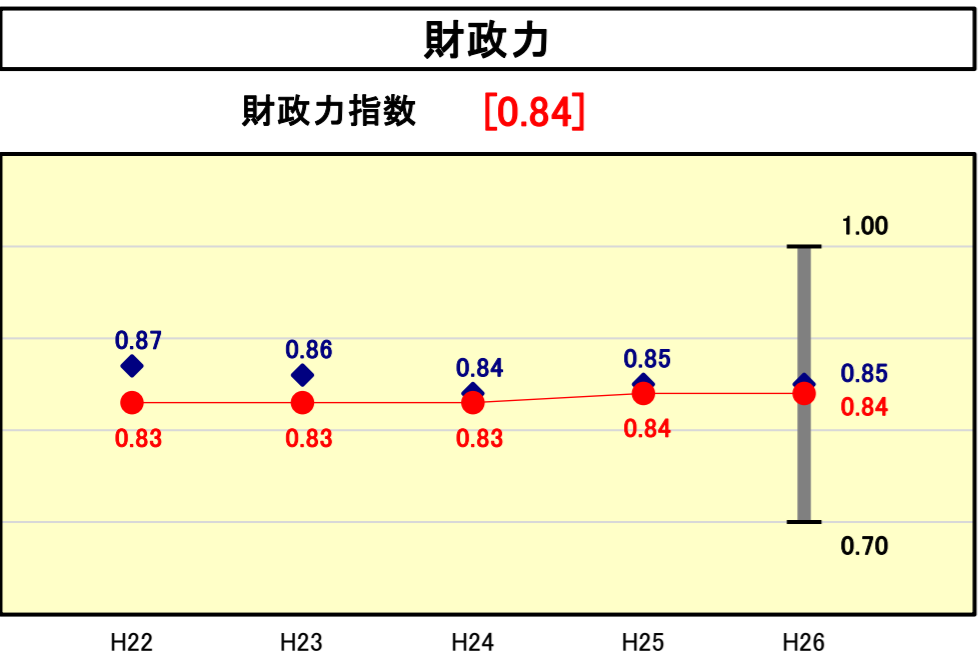
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 2/20 全国平均 45.8 大阪府平均 62.3

将来負担比率の分析欄

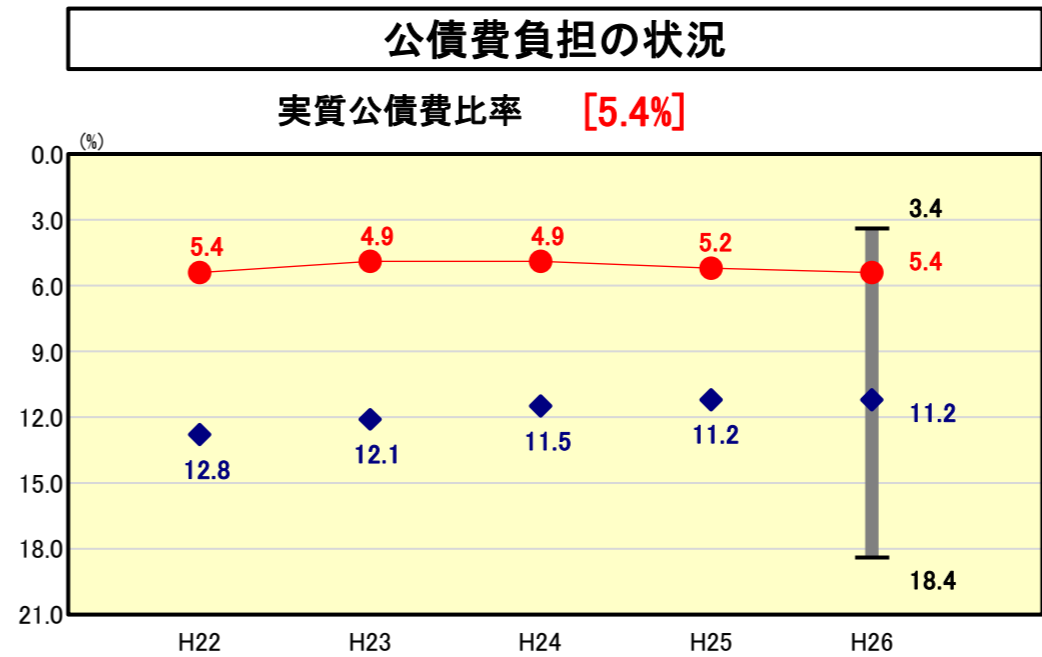
平成24年度に堺市立堺病院が独立行政法人化したことに伴い、堺病院事業会計が算定対象外となったことや、平成24年度に土地開発公社解散の方針が決定し、公社から事業用地の取得を行ったため、当該用地にかかる債務負担行為額が減少したこと、さらに平成26年度において退職手当の支給基準の見直しによる退職手当負担見込額の減少などにより、前年度と比較して5.7ポイント改善し、引き続き減少傾向にある。



類似団体内順位 12/20 全国平均 0.49 大阪府平均 0.71

財政力指数の分析欄

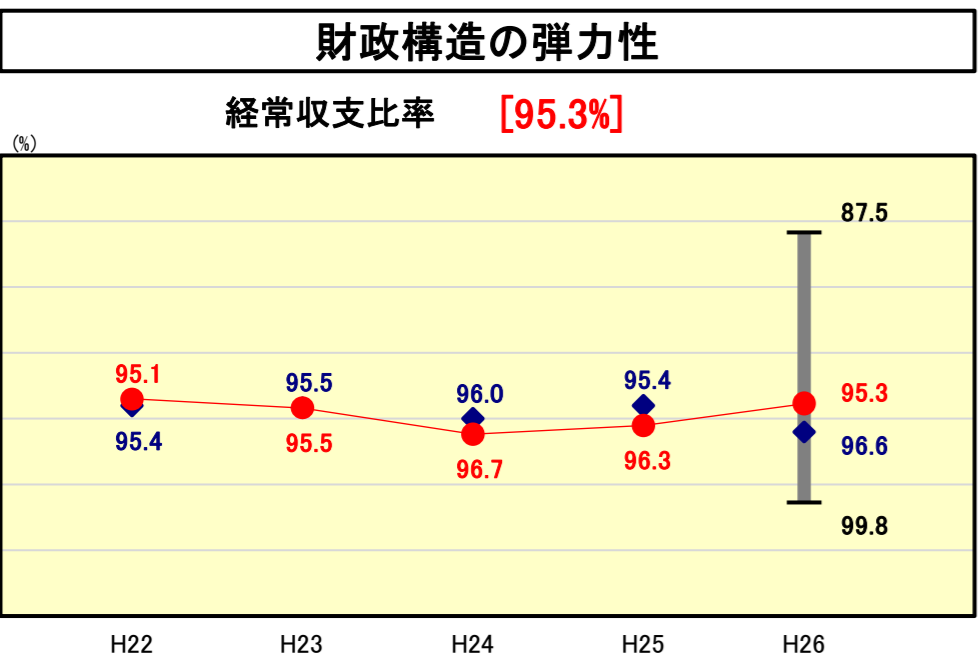
平成17年4月1日に施行した堺市企業立地促進条例によるグリーンフロントを中心とした企業投資の誘導により、固定資産税や事業所税などの効果額による本市の財政への寄与は非常に大きく、財政力指数は回復傾向にあるが、生活保護率が他団体平均と比べて例年7ポイント程度高く推移しており、依然として類似団体平均を下回る状況が続いているため、税の徴収強化等による税収増加等による歳入の確保に努める。



類似団体内順位 3/20 全国平均 8.0 大阪府平均 7.1

実質公債費比率の分析欄

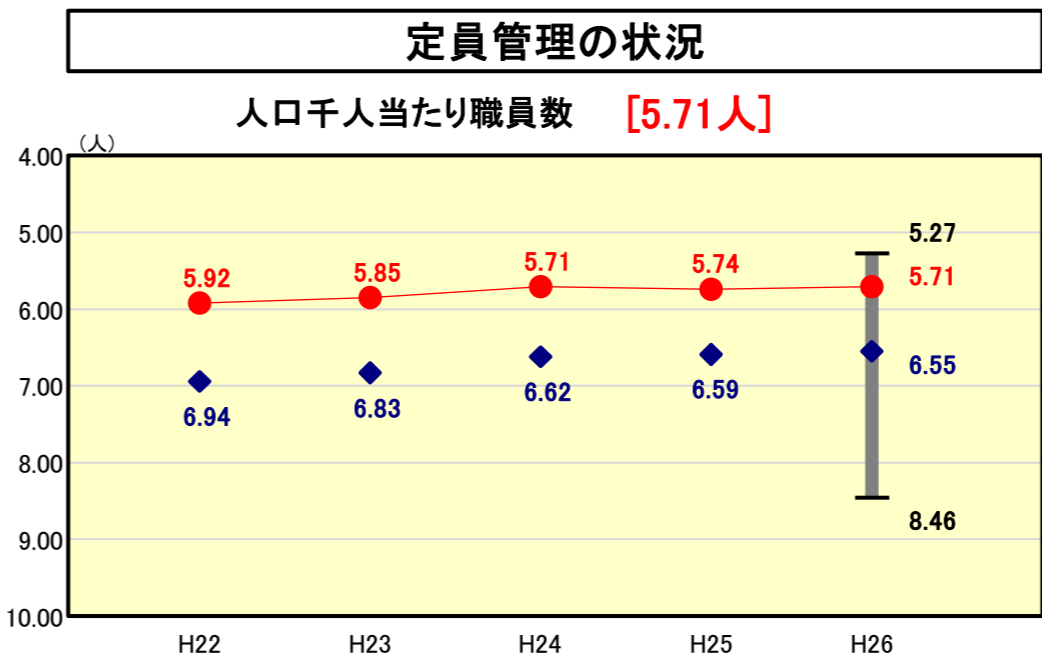
平成24年度から第三セクター等改革推進債の償還が開始され元利償還金が増加したこと等から、平成24年度以降実質公債費比率は増加傾向にある。今年度の算定から3カ年全ての単年度比率において、当該償還金が含まれることとなったため、前年度比0.2%増加しているが、類似団体平均を大きく下回っているため、現在の水準維持に努める。



類似団体内順位 8/20 全国平均 91.3 大阪府平均 97.0

経常収支比率の分析欄

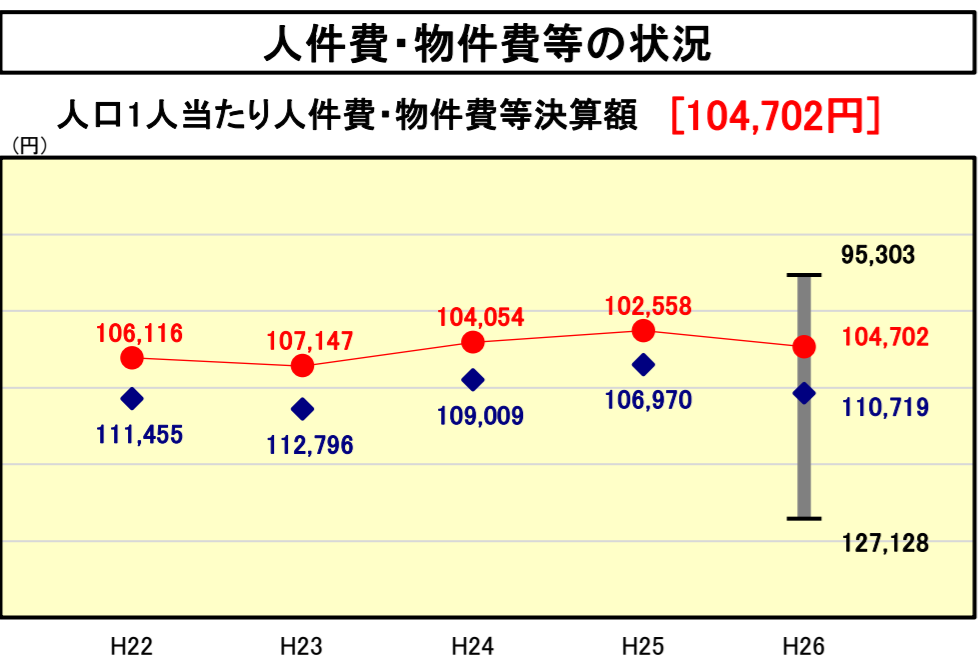
保育所入所児童数の増に伴う保育所運営費や利用者増に伴う障害者自立支援給付費など扶助費は例年増加傾向であり、さらに平成24年度から第三セクター等改革推進債の償還が始まったため公債費が増加し、経常収支比率は悪化傾向にあった。しかし、平成23年度から実施している要員管理計画の推進や平成26年度に退職手当支給率の見直しを行ったことによる人件費の削減、また、交付税検査結果に伴う錯誤額の措置により、平成26年度において普通交付税が増額されたこと等から前年度から1.0ポイント改善し、類似団体と比較して低い水準となった。



類似団体内順位 4/20 全国平均 6.96 大阪府平均 6.58

人口千人当たり職員数の分析欄

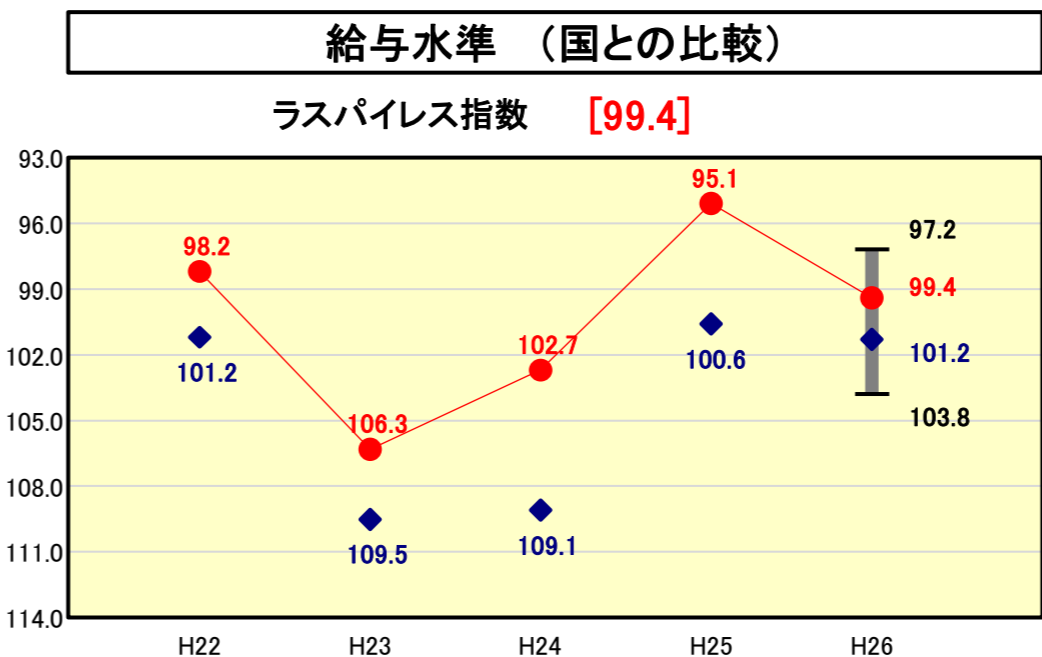
平成23年度に策定した「堺市要員管理方針」においてスリムで強靱な組織・人員体制を目指しており、平成21年4月1日を起点として10年間で要員数を2割以上削減することを目標としており、その方針に沿って職員数の削減を進めている結果、引き続き類似団体の平均を下回っている。平成21年4月1日時点の6,065人を起点とし、中期目標として平成27年に5,100人、長期目標として平成31年に4,800人にまで削減するという目標に対し、現状は平成27年4月1日時点で4,966人という実績である。



類似団体内順位 3/20 全国平均 119,984 大阪府平均 104,912

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

平成25年度から給与減額措置を行っており、平成26年度についても引き続き行われたこと、さらに平成26年度から退職手当支給率の見直しを行ったため人件費は減少している。また、平成23年度から事務事業の総点検を実施し、事業の見直し等の行財政改革を推進しているが、平成26年度においては情報システムの再構築や臨時福祉給付金支給事務、成人用肺炎球菌の定期接種化が行われたこと等により物件費が増加したため、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は増加している。



類似団体内順位 4/20 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

平成24年度に国家公務員の給与減額措置がとられたため、指数は大きくあがったが、平成25年度から本市でも同様に給与減額措置を行ったため、指数は下がった。平成26年度については、国家公務員の給与減額措置が終了し、本市のみの実施となったためさらに指数が下がったが、本市の給与減額措置が平成26年度で終了したため、再び指数は上がっている。

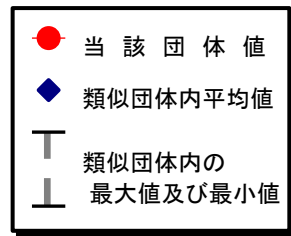
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

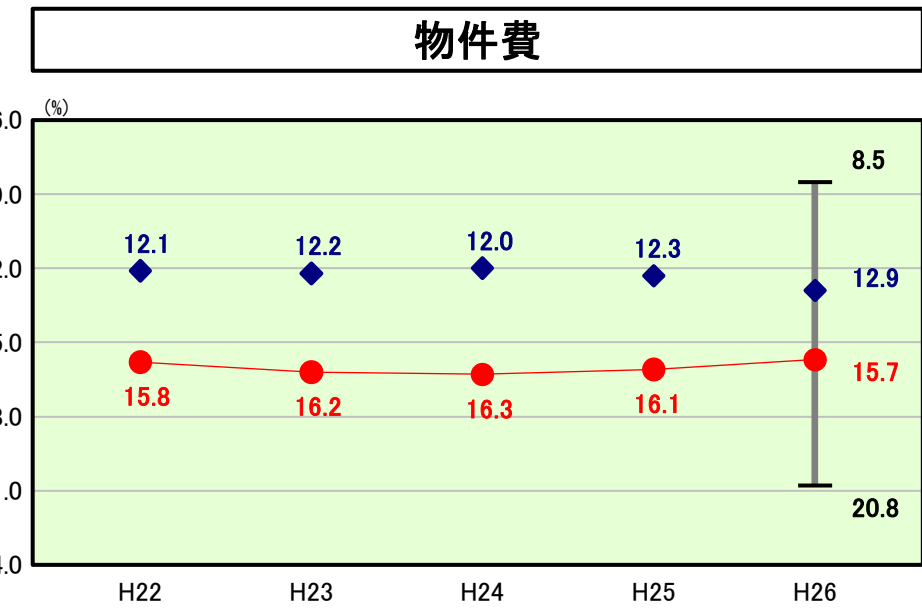
大阪府堺市

経常収支比率の分析

人口	847,719	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	835,743	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	149.81	km ²	実質公債費比率	5.4	%
歳入総額	353,078,550	千円	将来負担比率	21.9	%
歳出総額	350,241,172	千円	市町村類型	H22 政令市 H23 政令市 H24 政令市	
実質収支	1,740,192	千円	(年度毎)	H25 政令市 H26 政令市	
標準財政規模	189,377,871	千円			

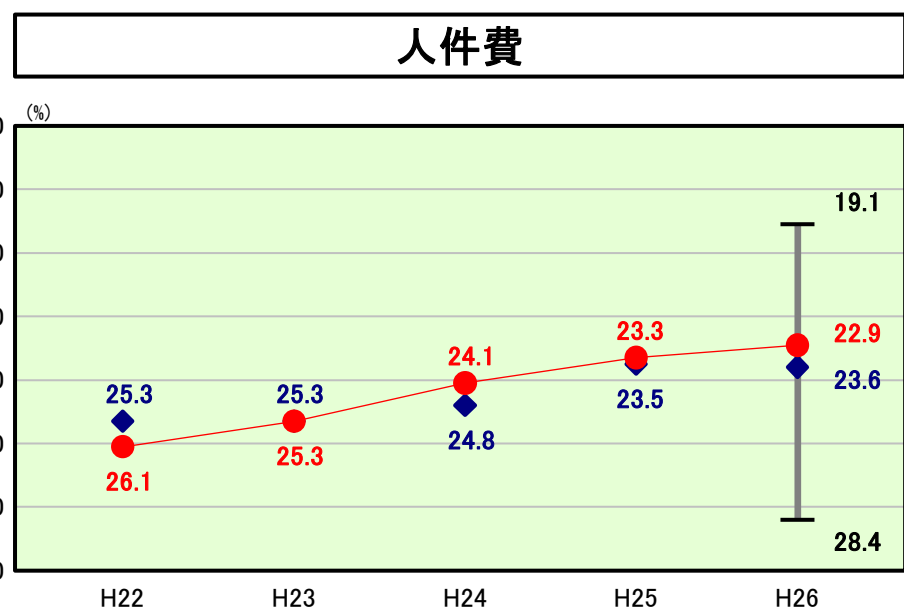


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



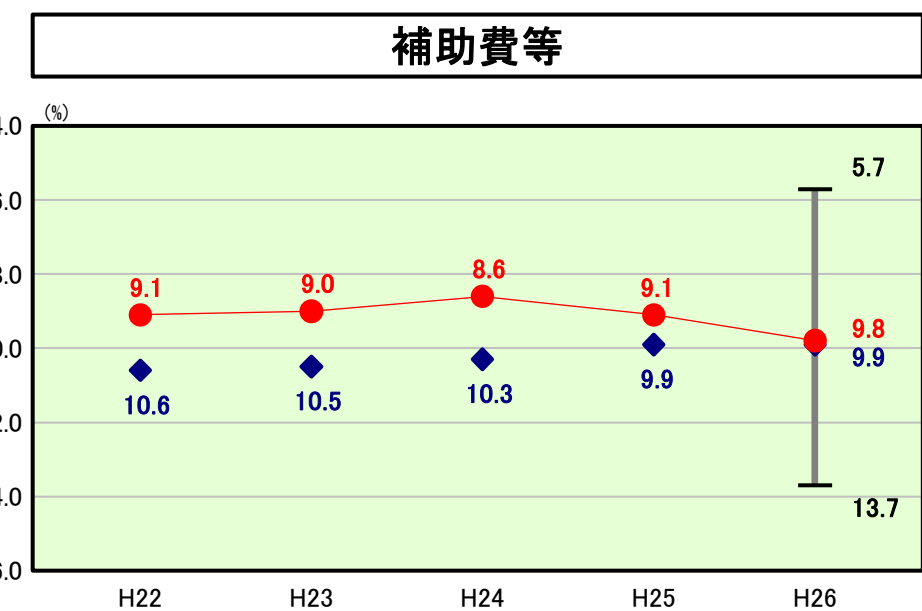
類似団体内順位 15/20 全国平均 14.3 大阪府平均 12.6

物件費の分析欄
平成23年度から事務事業の総点検を実施し、行財政改革を進めているところであり、減少傾向で推移している。平成26年度においては住民情報系システムにおける汎用機廃止による賃借料の削減等を行ったことにより前年度比0.4ポイントの減少となった。



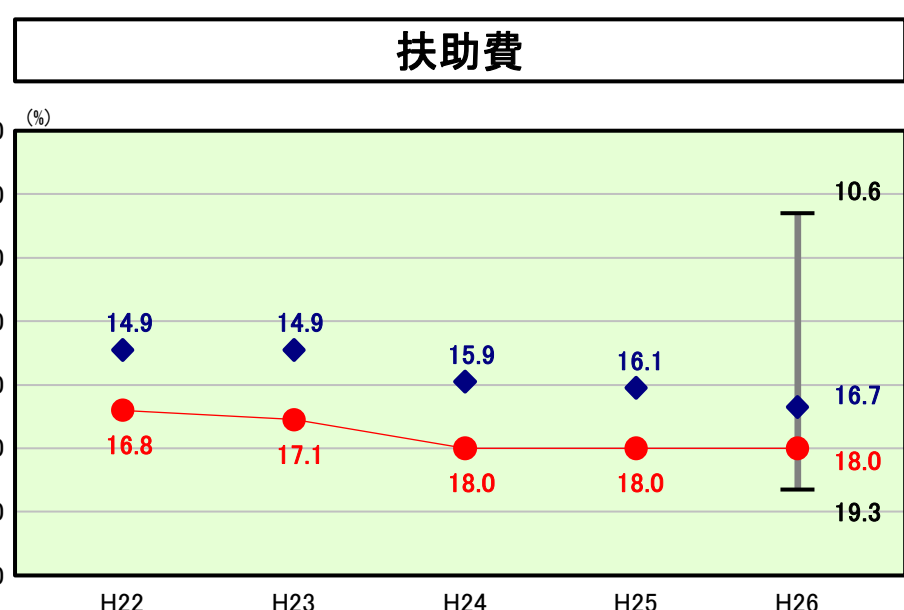
類似団体内順位 6/20 全国平均 23.8 大阪府平均 24.5

人件費の分析欄
平成23年度に策定した「堺市要員管理方針」に基づく要員管理の徹底による職員数の削減が続いているところ、人件費は減少傾向にあり、平成26年度においては、人事院勧告による職員給の増加がみられるものの、平成26年度に退職手当支給率の見直しを行ったため前年度と比較して0.4ポイント減少した。



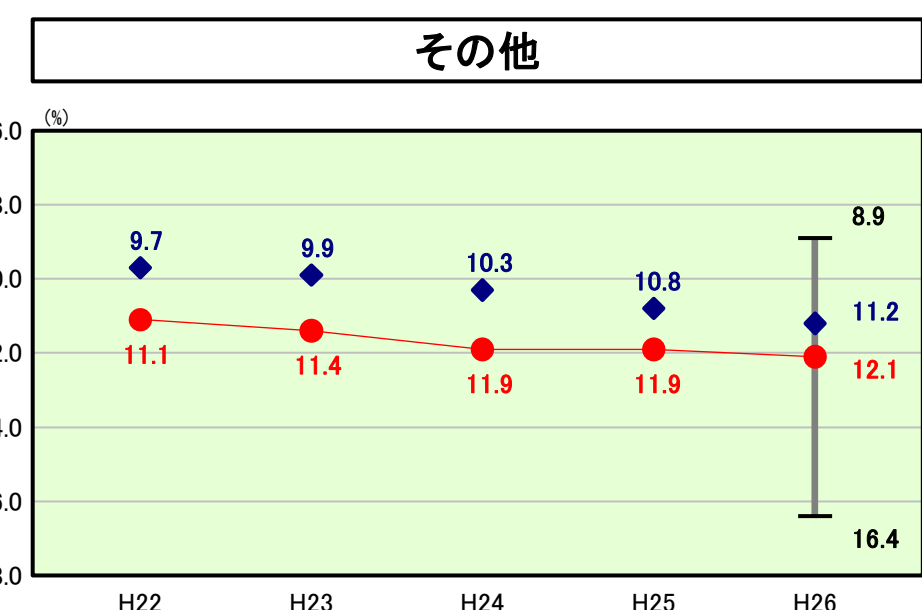
類似団体内順位 13/20 全国平均 10.1 大阪府平均 9.4

補助費等の分析欄
平成24年度以前は類似団体の水準を下回っていたが、平成25、26年と2カ年続けて増加し、類似団体平均と同水準となっている。その要因は、平成25年度において民間保育所運営補助や堺市立病院機構運営費負担金が増加したこと、さらには平成26年度において、さらに小規模保育事業運営補助及び住宅建築物耐震改修補助が増加したことによるものである。待機児童の解消や、耐震化による安全なまちの実現、まだ医療サービスの向上にかかるこれらの経費は必要であると考え、当該補助金や負担金及びその他の補助金等も含めて、今後とも見直しを図っていく必要がある。



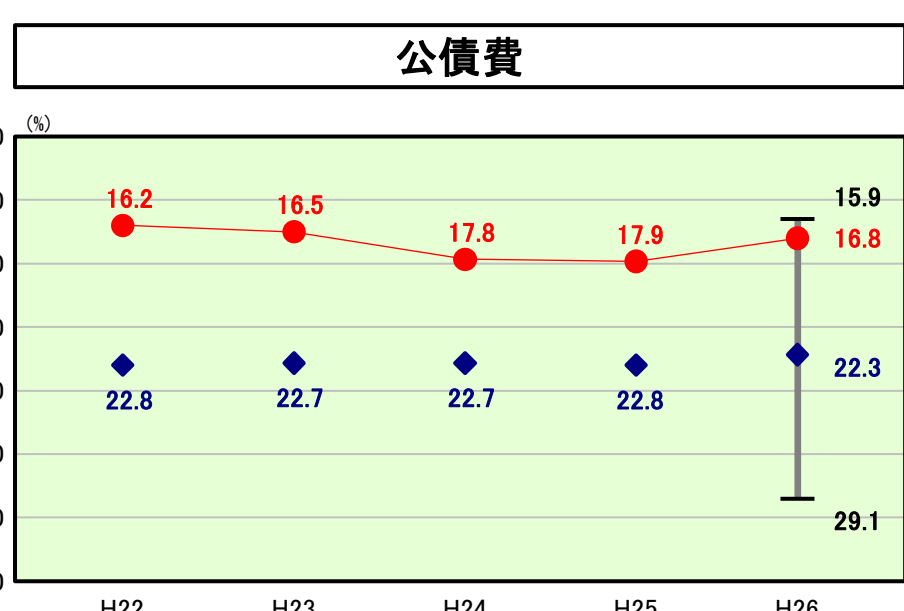
類似団体内順位 16/20 全国平均 11.7 大阪府平均 16.8

扶助費の分析欄
平成24年度に児童手当、子ども手当に係る地方特例交付金が減少したことにより、分母となる歳入が減少し、経常収支比率が悪化した。以降は、待機児童解消に向けた取り組みを推進したことによる保育所運営費の増や、障害者自立支援給付費、生活保護費など増加傾向にあるなかで、臨時財政対策債があわせて増加しているため、結果として経常収支比率は同水準で推移しており、依然



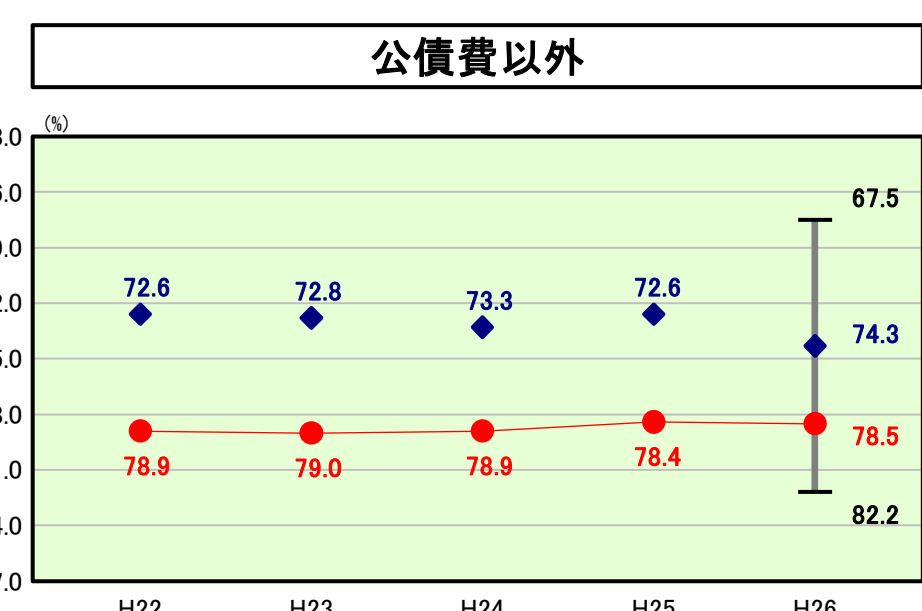
類似団体内順位 14/20 全国平均 13.2 大阪府平均 12.7

その他の分析欄
年々、比率が増加しており、依然として類似団体より高い水準にある。この背景には、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の各特別会計への繰出が増加しているためである。国民健康保険事業への繰出増加の要因については、主に、政令軽減の軽減判定基準が改正され、保険料軽減対象世帯が増えたことにより、基盤安定繰入金及び財政安定化支援事業の繰入額が増加したためである。介護保険事業への繰出増加の要因については、主に、高齢化の進行に伴い、要介護認定者数が年々増加していることにより、介護保険給付費が増加したためである。後期高齢者医療事業への繰出増加の要因については、主に、高齢化の進行に伴い被保険者数が年々増加していることや、政令軽減の対象者が拡大したことなどにより、保健基盤安定等に係る繰入額が増加したためである。



類似団体内順位 2/20 全国平均 18.2 大阪府平均 21.0

公債費の分析欄
平成24年度から第三セクター等改革推進債の償還が開始されたことにより、公債費の経常収支比率は増加傾向にあったが、平成26年度については、臨時財政対策債に対する元利償還金は増加したものの、平成25年度で償還終了するものが多く、その他市債に対する元利償還額が減少したため、前年度と比較して1.1ポイントの減少となった。



類似団体内順位 18/20 全国平均 73.1 大阪府平均 76.0

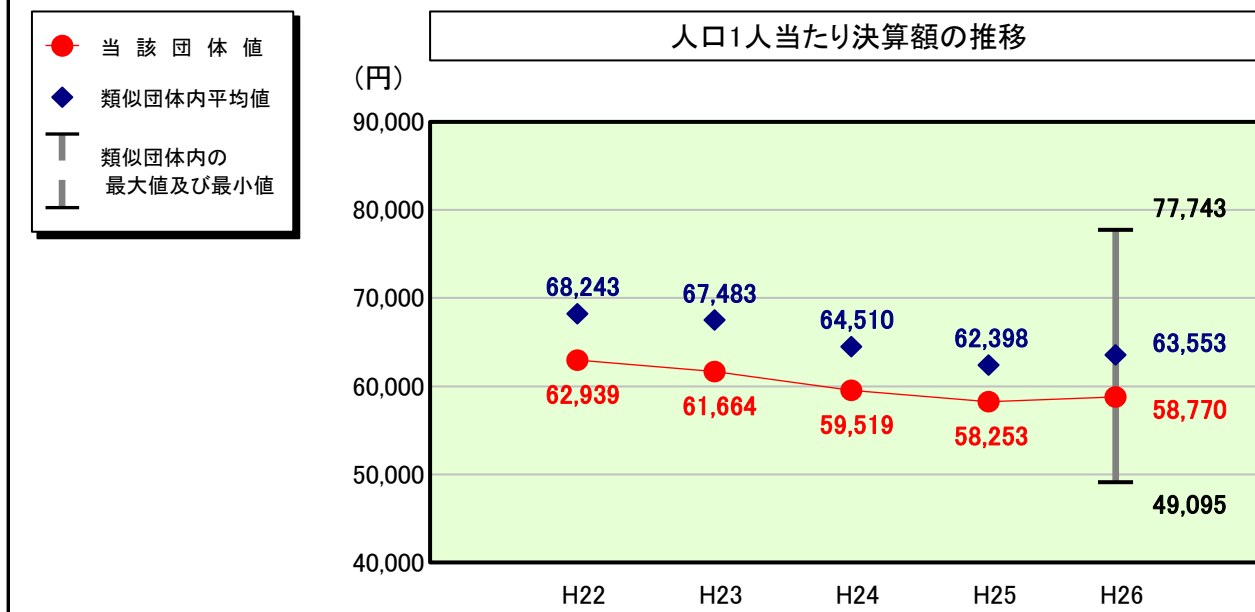
公債費以外の分析欄
公債費以外の経常収支比率は、平成26年度に退職手当の支給率を見直したことにより人件費が減少したが、保育所運営費や障害者自立支援給付費、生活保護費などの扶助費の増が大きかったことから、前年度比0.1%の増となった。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

大阪府堺市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



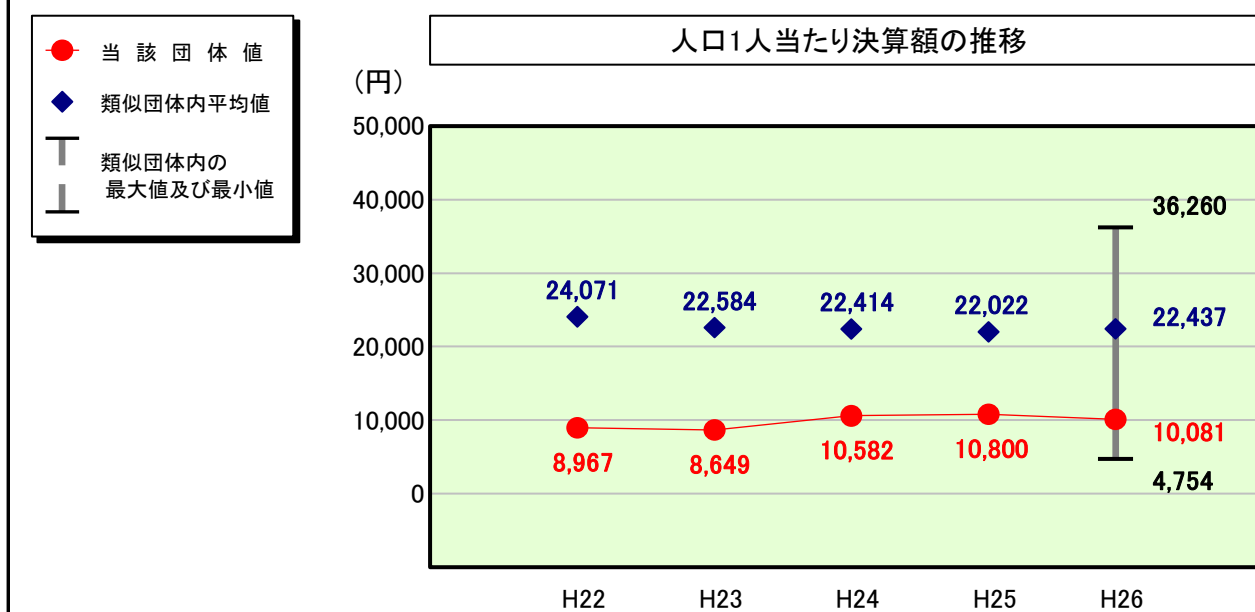
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	48,667,372	57,410	63,107	▲ 9.0
賃金(物件費)	1,990,175	2,348	1,396	68.2
一部事務組合負担金(補助費等)	17,051	20	49	▲ 59.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,025,227	1,209	1,372	▲ 11.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	15	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,762,942	2,080	1,866	11.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	675,468	797	1,215	▲ 34.4
▲退職金	▲ 4,318,038	▲ 5,094	▲ 5,468	▲ 6.8
合計	49,820,197	58,770	63,553	▲ 7.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.71	6.55	▲ 0.84
ラスパイレス指数	99.4	101.2	▲ 1.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

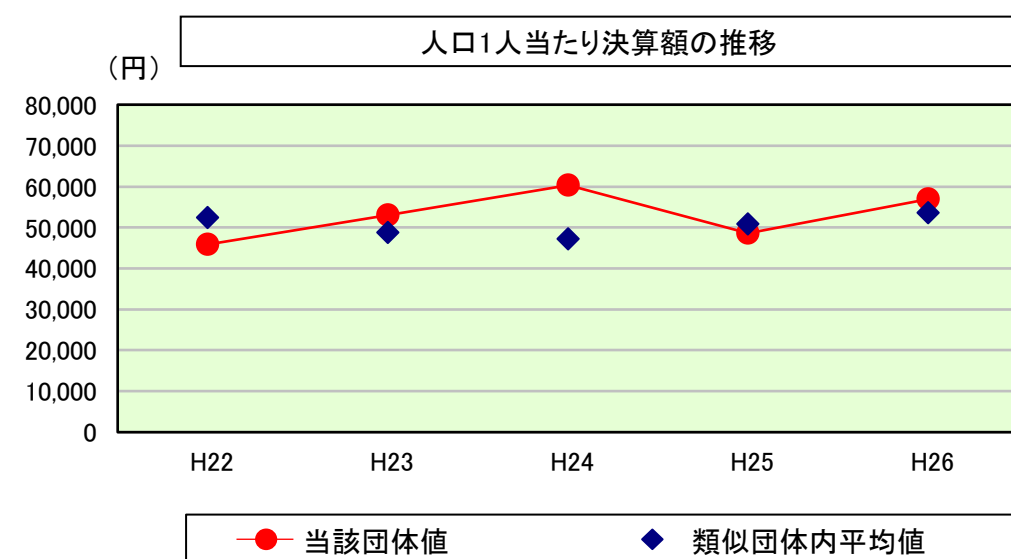


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	29,259,945	34,516	34,659	▲ 0.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	4,073	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	4,981,510	5,876	20,339	▲ 71.1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	6,519,243	7,690	13,347	▲ 42.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	214	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	46,534	55	1,185	▲ 95.4
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	8	-
▲特定財源の額	▲ 8,806,287	▲ 10,388	▲ 16,624	▲ 37.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 23,454,891	▲ 27,668	▲ 34,764	▲ 20.4
合計	8,546,054	10,081	22,437	▲ 55.1

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

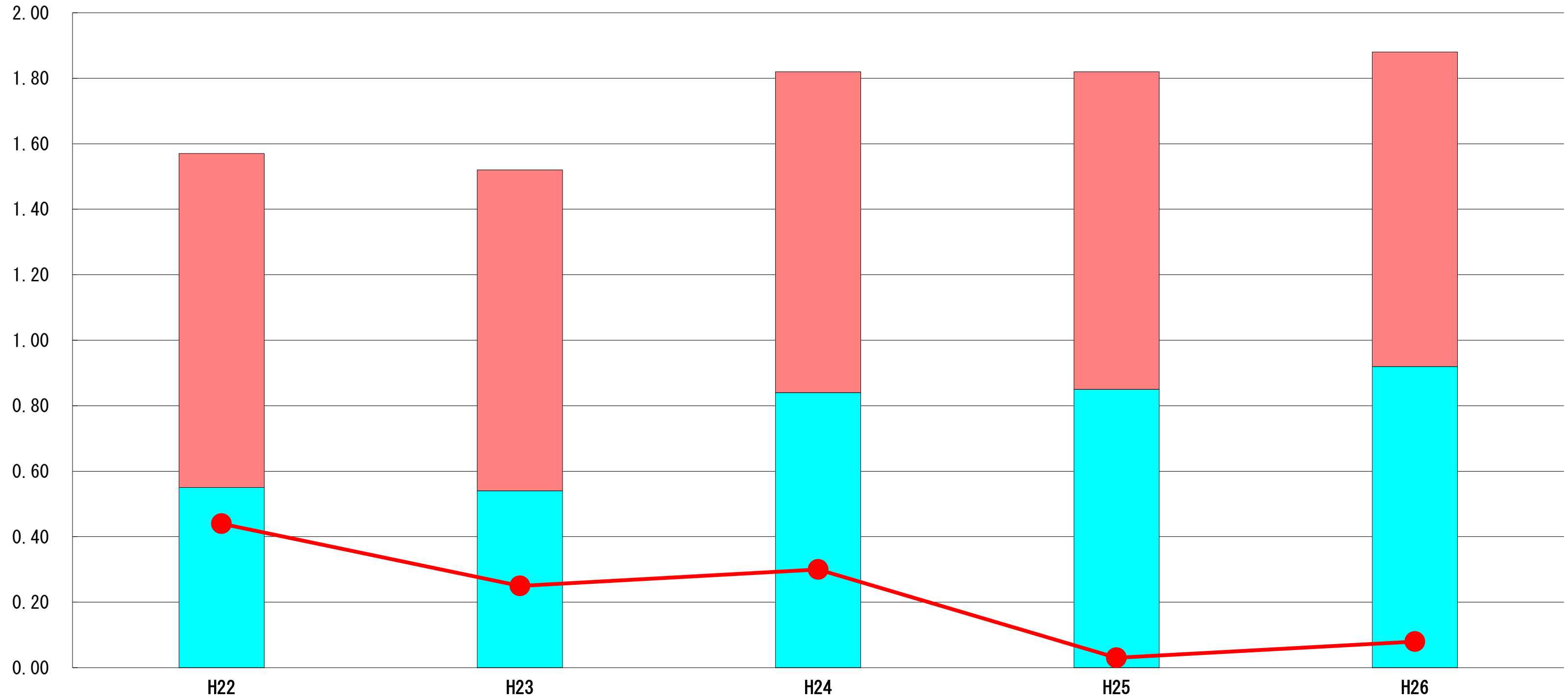
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H22	38,478,143	45,918	▲ 14.9	52,334	▲ 6.2	▲ 8.7
うち単独分	24,008,829	28,651	▲ 26.9	29,965	▲ 5.0	▲ 21.9
H23	44,499,642	53,059	15.6	48,794	▲ 6.8	22.4
うち単独分	19,306,022	23,020	▲ 19.7	25,698	▲ 14.2	▲ 5.5
H24	51,231,852	60,319	13.7	47,129	▲ 3.4	17.1
うち単独分	19,377,199	22,814	▲ 0.9	23,069	▲ 10.2	9.3
H25	41,263,314	48,596	▲ 19.4	50,848	7.9	▲ 27.3
うち単独分	16,776,700	19,758	▲ 13.4	22,583	▲ 2.1	▲ 11.3
H26	48,250,312	56,918	17.1	53,572	5.4	11.7
うち単独分	27,190,025	32,074	62.3	25,259	11.8	50.5
過去5年間平均	44,744,653	52,962	2.4	50,535	▲ 0.6	3.0
うち単独分	21,331,755	25,263	0.3	25,315	▲ 3.9	4.2

(5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成26年度

大阪府堺市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		1.02	0.98	0.98	0.97	0.96
 実質収支額		0.55	0.54	0.84	0.85	0.92
 実質単年度収支		0.44	0.25	0.30	0.03	0.08

分析欄

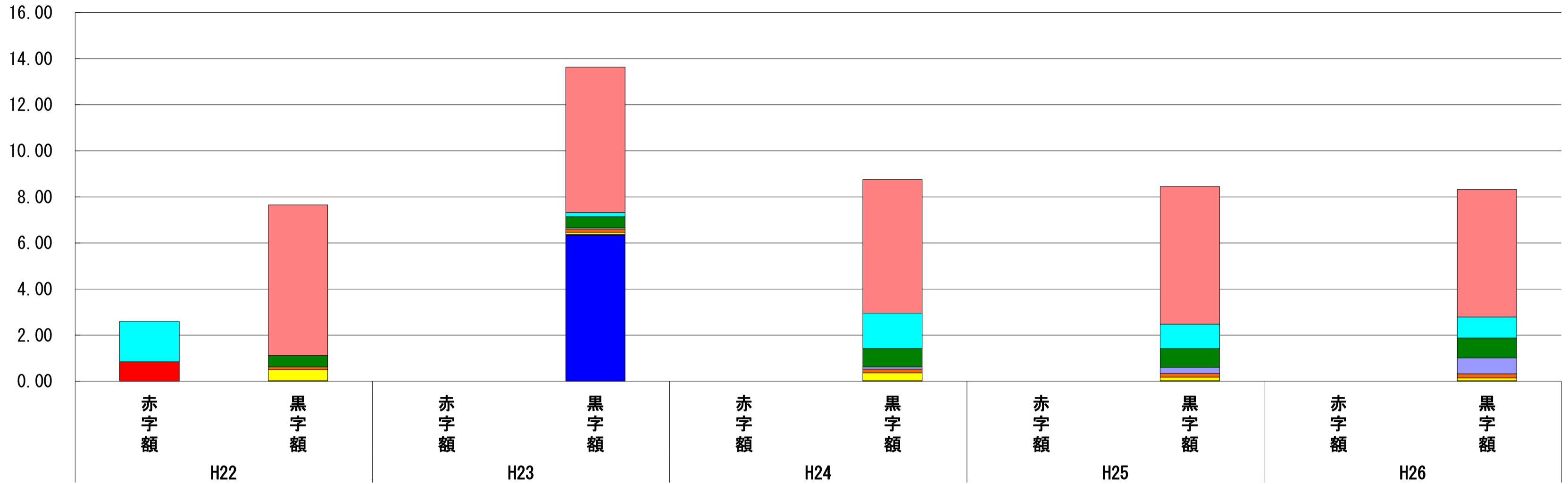
平成22年度以降財政調整基金は、適切な財源の確保と要員管理等による人件費の削減や平成23年度から実施している事務事業総点検等による行財政改革に伴う歳出の精査により取り崩しを回避しており、微増ではあるが増加傾向にある。(前年度比0.24%増)分母となる標準財政規模についても、平成16年度以降市税の徴収強化等により増加傾向にあり、財政調整基金以上の増額(前年度比1.4%増)となっているため比率は微減している。
また、保育所整備や学校園の耐震化等普通建設事業費が増加したが、企業収益の改善等により市税も増加したため、引き続き黒字を確保している。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成26年度

大阪府堺市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
堺市水道事業会計		6.53	6.31	5.79	5.97	5.53
国民健康保険事業特別会計		▲ 1.75	0.17	1.53	1.06	0.91
一般会計		0.51	0.49	0.80	0.82	0.87
堺市下水道事業会計		0.00	0.06	0.10	0.26	0.69
後期高齢者医療事業特別会計		0.12	0.13	0.16	0.16	0.17
介護保険事業特別会計		0.47	0.09	0.34	0.15	0.12
母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		0.03	0.04	0.03	0.03	0.03
都市開発資金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		▲ 0.85	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	6.34	0.00	0.00	0.00

分析欄

引き続きすべての会計で実質収支、資金収支が黒字となっており、連結実質赤字比率は生じていない。

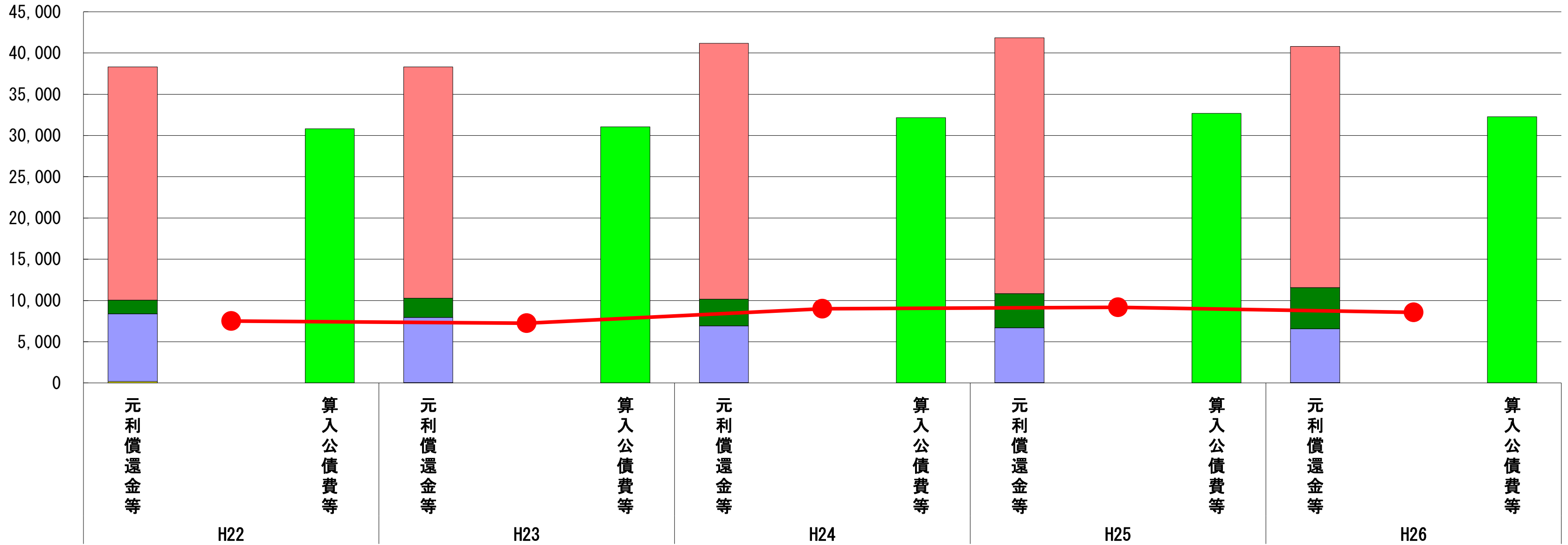
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		28,286	28,028	31,007	31,020	29,260
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		1,667	2,333	3,233	4,134	4,982
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		8,182	7,898	6,868	6,649	6,519
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		188	50	51	48	47
	一時借入金の利子		2	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		30,810	31,056	32,173	32,680	32,261
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		7,515	7,253	8,986	9,171	8,547

分析欄

平成24年度から第三セクター等改革推進債の償還が開始され元利償還金が増加したが、今年度の算定から3カ年全ての単年度比率において、当該償還金が含まれることとなったため、前年度比0.2%増加している。

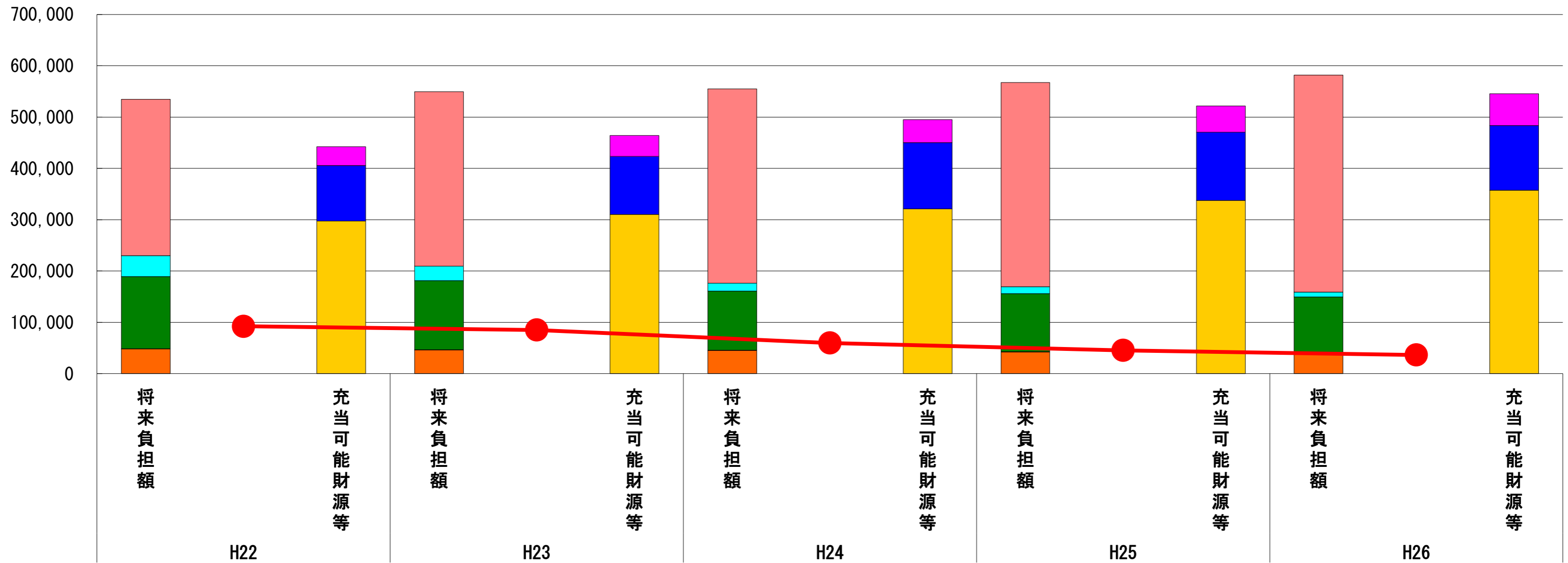
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		305,146	339,718	378,608	397,879	422,719
	債務負担行為に基づく支出予定額		40,698	28,388	15,609	13,633	9,359
	公営企業債等繰入見込額		140,098	134,591	115,158	113,033	110,322
	組合等負担等見込額		718	568	402	241	90
	退職手当負担見込額		48,261	46,271	45,409	42,635	39,390
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		36,769	40,701	44,674	51,147	61,943
	充当可能特定歳入		108,450	112,923	129,123	133,080	125,942
	基準財政需要額算入見込額		297,315	310,644	321,385	337,721	357,617
(A) - (B)	将来負担比率の分子		92,387	85,269	60,005	45,473	36,379

分析欄

標準財政規模が増加したことに加え、土地開発公社からの事業用地取得の推進に伴う当該用地にかかる債務負担行為額の減少及び土地開発基金残高の増加による充当可能基金の増加や、退職手当の支給基準の見直しによる退職手当負担見込額の減少などにより、前年度と比較して5.7ポイント改善した。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。